

平成29年度 第1回  
広島市公共事業再評価審議会

街路事業

- ・都市計画道路 比治山東雲線
- ・都市計画道路 霞庚午線(8・9工区)
- ・都市計画道路 東雲大州線外1
- ・都市計画道路 山の手線外1

平成29年11月17日(金)

広島市道路交通局道路部街路課

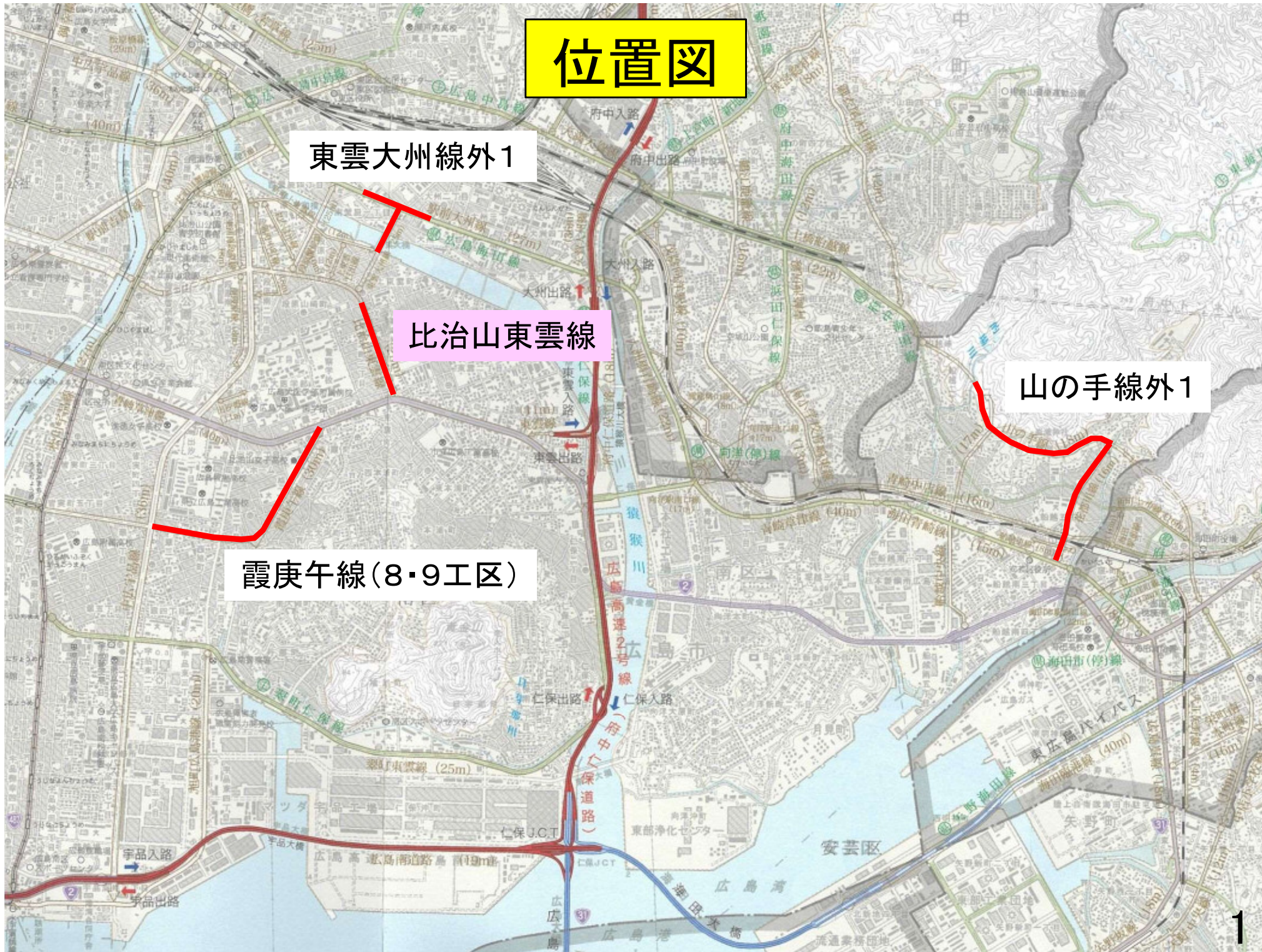
# 位置図

東雲大州線外1

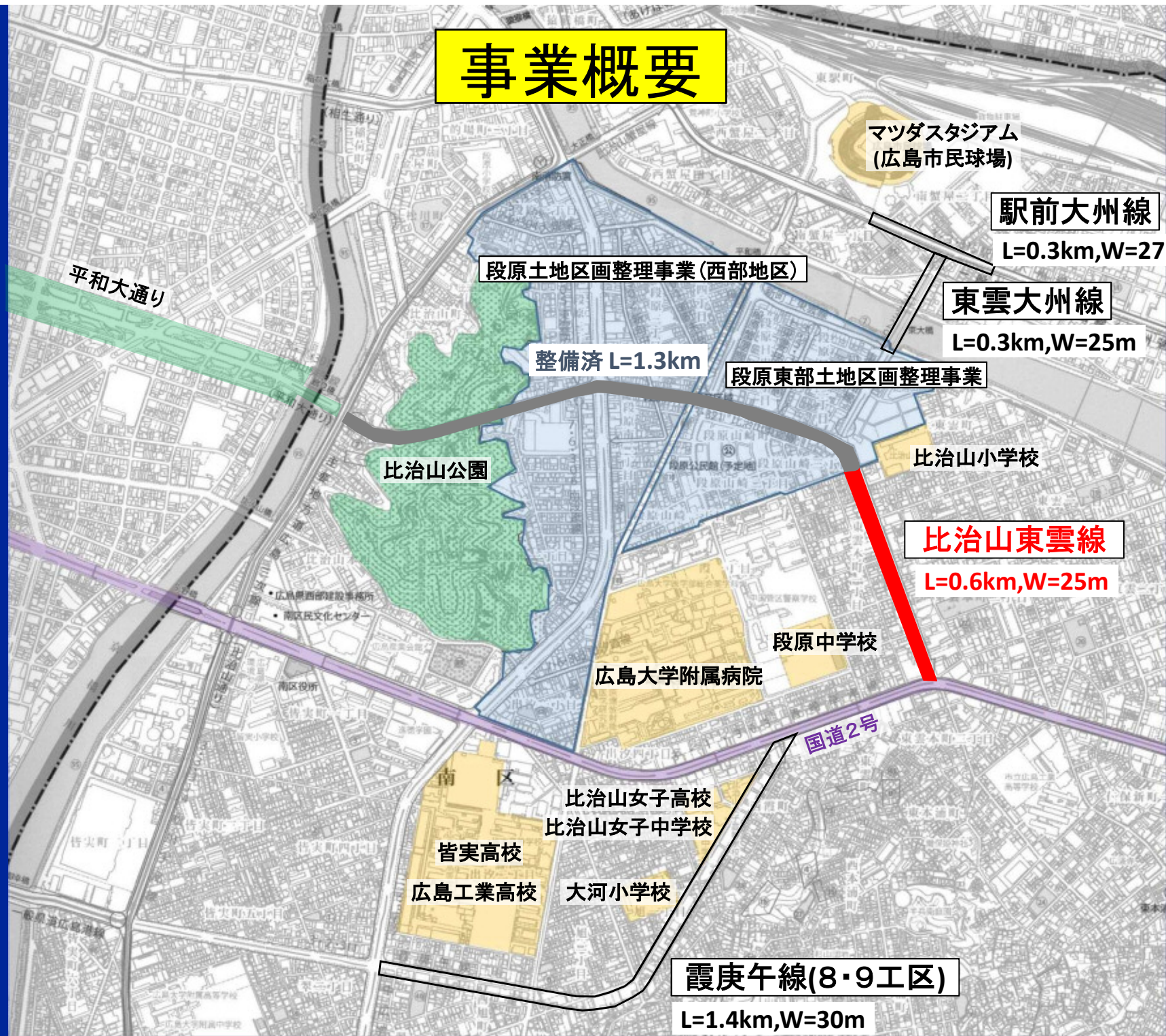
比治山東雲線

山の手線外1

霞庚午線(8・9工区)



# 事業概要





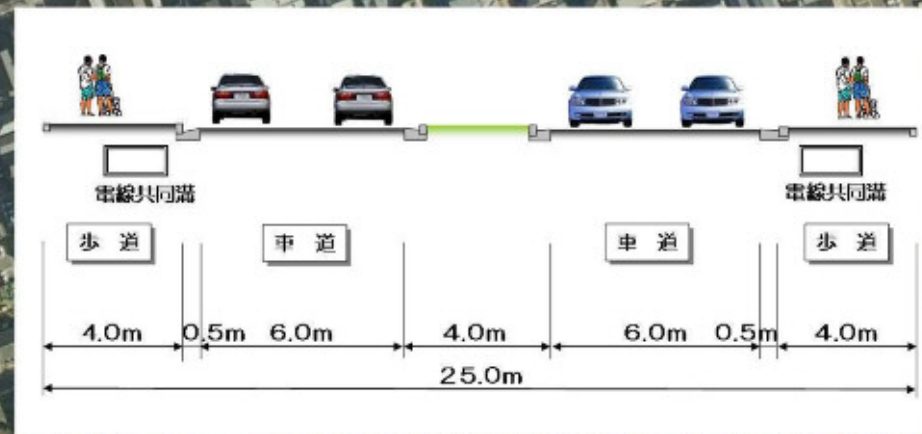
# 事業概要

延長	L=550m
幅員	W=25m(4車線)
予定期間	H10~H30年代前半
全体事業費	76億円

比治山小学校

比治山東雲線

国道2号



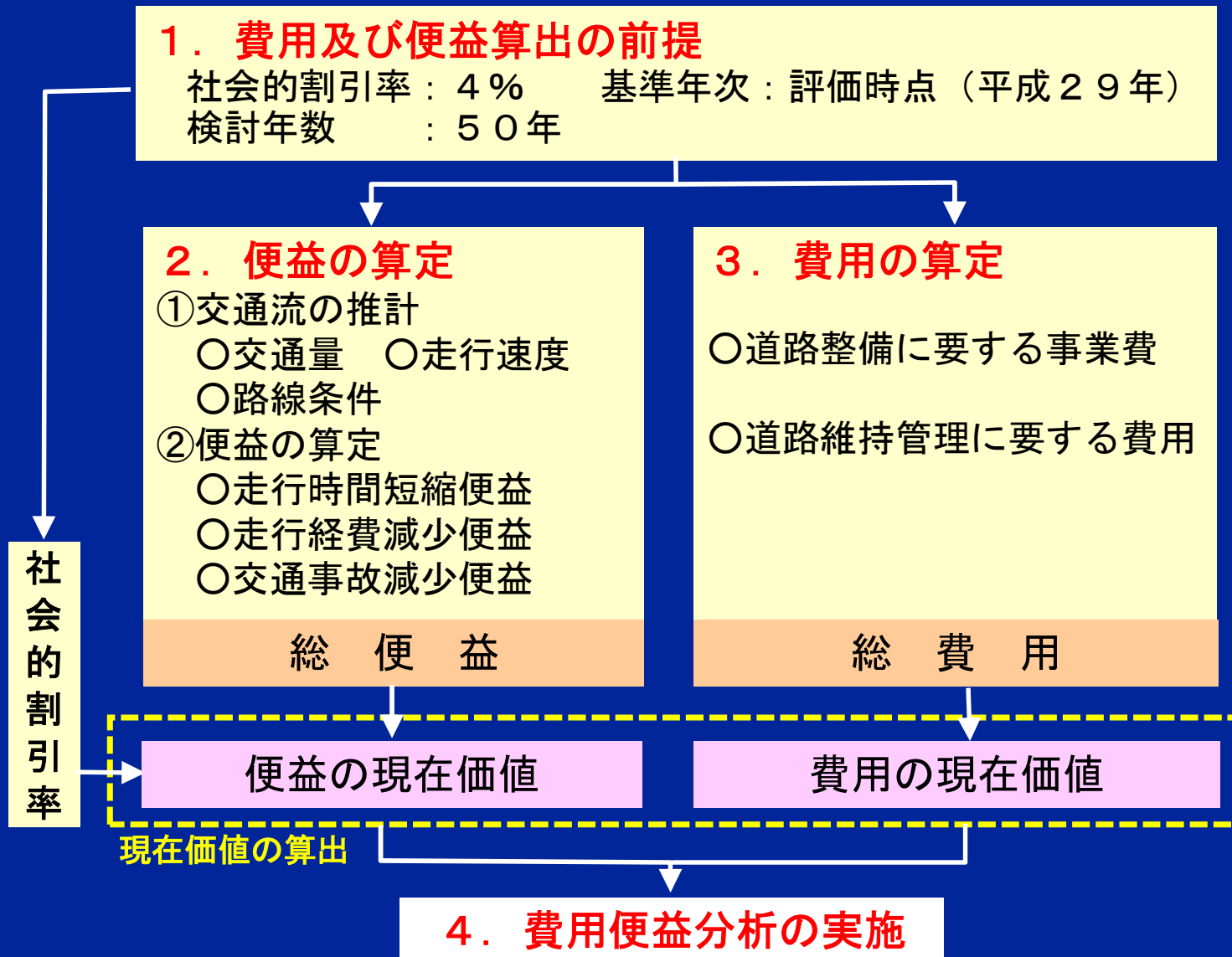
# 視点① 事業を巡る社会情勢等の変化

- ・ 段原地区の土地区画整理事業が完了
- ・ マツダスタジアム・大規模小売店舗の立地 ⇒ 交通需要が増大



# 視点② 事業の投資効果

## ■費用対効果分析のフロー



## 視点② 事業の投資効果

### ■費用対効果分析の結果

#### 【費用便益比(事業全体)】

$$\begin{array}{ccc} \text{総便益(B)} & \div & \text{総費用(C)} \\ 192.1\text{億円} & & 101.4\text{億円} \end{array} = \begin{array}{c} \text{費用便益比(B/C)} \\ 1.8 \end{array}$$

#### 【費用便益比(残事業)】

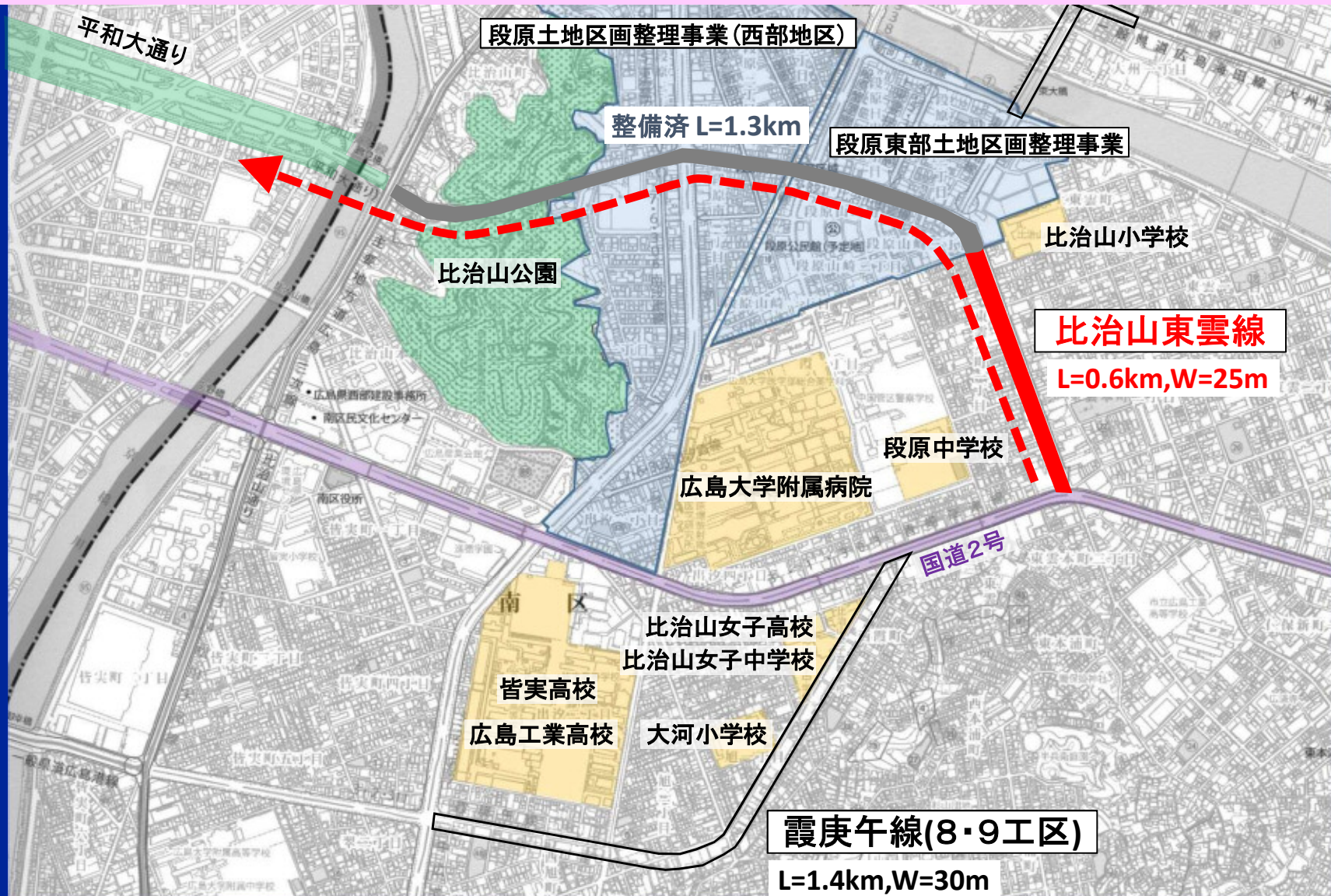
$$\begin{array}{ccc} \text{総便益(B)} & \div & \text{総費用(C)} \\ 192.1\text{億円} & & 0.1\text{億円} \end{array} = \begin{array}{c} \text{費用便益比(B/C)} \\ 1976.3 \end{array}$$

総便益(B)が総費用(C)を上回っている

# 視点② 事業の投資効果

■事業の効果や必要性 【国土・地域ネットワークの構築】

国道2号を補完し、都心への流入交通を円滑化



# 視点② 事業の投資効果

## ■事業の効果や必要性

### 【国土・地域ネットワークの構築】

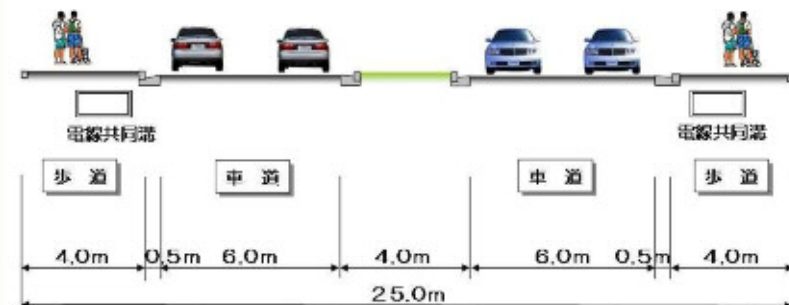
#### 一方通行及び大型車通行規制が解消



(整備前) 幅員約9m



(整備後) 幅員25m



## 視点② 事業の投資効果

### ■事業の効果や必要性

【歩行者・自転車のための生活空間の形成】

歩行者や自転車の安全性が向上



## 視点② 事業の投資効果

### ■事業の効果や必要性

【無電柱化による美しい町並みの形成】

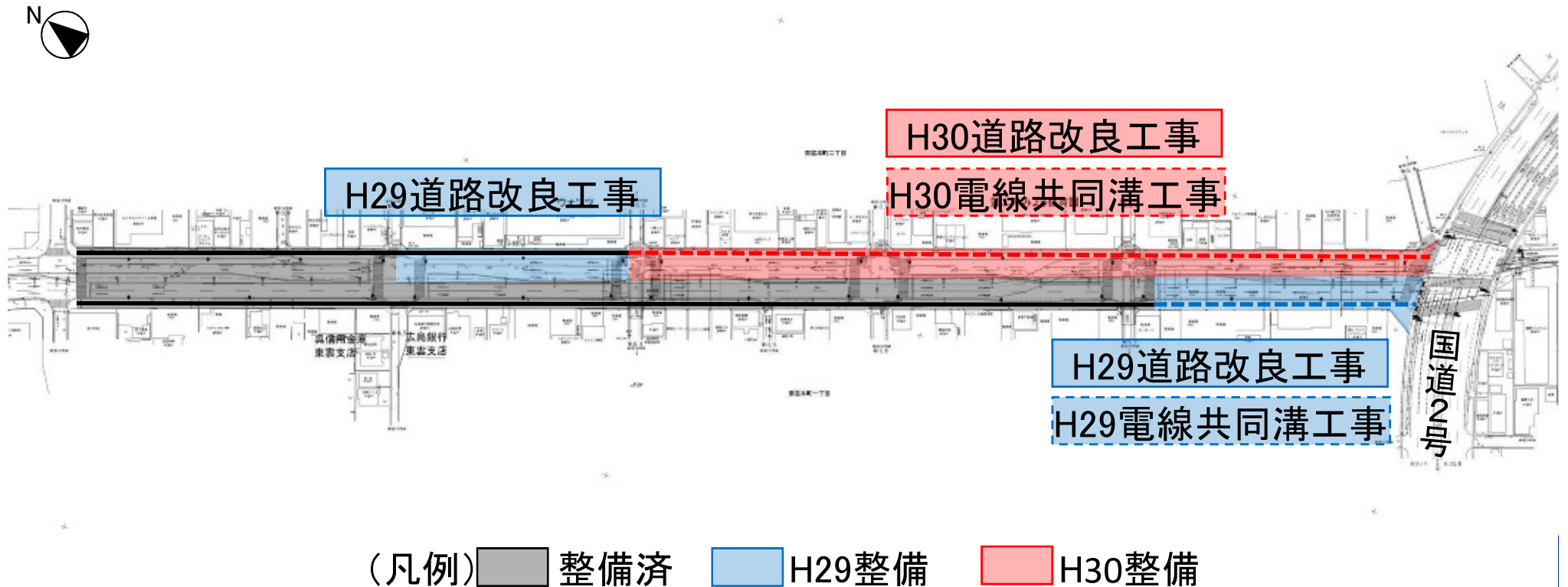
電線類地中化により良好な都市景観が形成



整備事例(段原東部土地区画整理事業区間)

# 視点③ 事業の進捗状況

用地取得を完了し、順次、電線共同溝工事及び道路改良工事を推進しており、事業進捗率も9割を超える。



# 視点③ 事業の進捗状況

電線共同溝工事及び道路改良工事を推進



# 視点④ 事業の進捗の見込み

H30年度中に4車線供用予定。



## 視点⑤ コスト縮減や代替案立案等の可能性


### ■コスト縮減の可能性

【道路改良工事】 建設副産物の発生抑制

【電線共同溝工事】 既設管路の再利用や道路改良工事との同時施行

### ■代替案立案等の可能性

- 最適なルートとして都市計画決定。
- 用地取得を完了し、順次、道路改良工事を推進。



現行ルートが適当

# 対応方針（案）

## 【対応方針】 事業継続

### 【理由と今後の方針】

比治山東雲線は、比治山庚午線（平和大通り）に接続して国道2号を補完し、広島市のデルタ市街地中央部を東西に横断する幹線道路である。

本路線は、現道の一方通行及び大型車の通行規制を解消するとともに、災害時には緊急輸送道路としての機能を担うなど整備効果が高い路線である。

既に用地取得を完了し、順次、道路改良工事を進めており、平成30年度には4車線供用を予定していることから、引き続き事業を継続し、早期完成を目指す。